

未来につながる外国人児童生徒支援と学生育成 ～教員養成大学と教育委員会の互恵的な連携の在り方～

リソースルームでは、教員や教育職を目指す学生が、在学中に日本語指導が必要な児童生徒と接することで、将来の学校現場における外国人児童生徒等教育に対する理解を深めることを目的とし、刈谷市、豊田市、知立市と連携し、小中学校に在籍する日本語指導が必要な児童生徒へのボランティア学生派遣事業を行っています。

外国人児童生徒教育の現状・課題及び国の政策について共通理解を図った上で、事例紹介として、本学と近隣市の緊密な連携による取組を紹介します。教員養成大学と教育委員会の互恵的な連携の在り方を紹介し、連携による学生育成の有用性について共に考えていきます。

日時

令和5年 12月27日（水）
13:00～16:00（受付 12:30～）

参加費
無料

会場

愛知教育大学 本部棟3階 第一会議室

対象

本学学生、教職員、一般

定員：70名

後援

刈谷市教育委員会、豊田市教育委員会、知立市教育委員会

〈スケジュール〉

（敬称略）

13:05	来賓紹介	
13:15	文部科学省行政説明	片桐 由紀子（文部科学省国際教育課 日本語指導調査官）
13:35	活動紹介	愛知教育大学 外国人児童生徒支援リソースルーム
13:55	取組紹介	清水 都世子（刈谷市教育委員会 学校教育課 指導主事） 渡邊 温嫁（豊田市教育委員会 学校教育課 指導主事） 二宮 敬之（知立市教育委員会 学校教育課 指導主事）
15:05	体験発表	伊藤 悠愛（学校教員養成課程 保健体育専修3年） 武藤 恒二（初等教育教員養成課程 理科選修4年） 田中 なずな（豊田市立四郷小学校 教諭）
15:35	「互恵性を考えない互恵性」	河野 俊之（横浜国立大学 教授）

お申し込み方法は裏面をご覧ください。